

令和8年1月27日

河岐両神地内住民 各位

白川町農林課農務係

# 野生のサルにご注意ください！

令和8年1月ごろから、河岐両神地内でニホンザル(成獣2頭)による農地や庭地での被害が複数報告されています。被害防止のため、本チラシ裏面を参考に対策をお願いします。



両神地内で出没しているとみられるニホンザル2頭 [住民提供]

○お問合せ先

白川町役場農林課農務係	
係長	安江健太郎
担当	渡邊 俊介
住所	白川町河岐1705番地2
電話番号	0574-72-1311 (243)

## 1. 被害に遭わないようにするには…

### ①被害を受けた農作物、収穫しない農作物は農地に残さない・捨てない

農地はいわば、野生動物にとっての餌場(安全かつ簡単に食べ物が得られる場所)です。被害を受けた農作物をそのままにしておく、葉や傷がついた農作物を農地に廃棄することはサルが「継続的に食料にありつける環境」を作ることにはほかなりません。また、軒下の干し柿や野菜なども屋内に入れ、サルに取られないようにすることが大切です。

### ②農地への侵入防止柵を設置

被害が甚大な農地に対しての侵入防止柵設置も効果的な手法の一つです。柵の設置には、町の補助金制度もあります。設置を検討されている方は一度、役場農林課へご相談ください。

### ③戸締りの徹底

人の生活圏への出入りに慣れてしまった個体は、住居内に侵入することもあります。戸締りを徹底し、屋内に侵入させないようにしましょう。

### ④可能な限り複数人で、山へ追い払う

出没が確認された場合は、近隣に住民に声をかけ、複数人で鍋やフライパンを手にとって、音をならし、サルを山へ追い払いましょう。ロケット花火や爆竹の使用も有効です。追い払う場合は、できるだけ山深くまで追い払うことが効果的とされており、山際でやめしまうと「山までくれば大丈夫」と学習し、再度出没する原因になります。

サルは音自体に警戒するものではありませんが、複数の人間が自分のテリトリーに「ゆっくり歩いて接近してくる」ことで人間を脅威として学習し、本来の生息域へと戻るとされています。来なくなるまで、複数回の追い払いを実施することが必要です。

## 2. もし、不意に遭遇してしまったら…

### ①不用意に近づかず、目を合わせず・静かに・ゆっくりと距離を取る

出没しているサルは人馴れしており、近づくともぐもぐ・引っかかる可能性があります。遭遇した場合は目を合わせず、静かにゆっくりと後ずさりしながら距離を取ってください。サルにとって目を合わせることは威嚇行為であり、視線をそらしたときに襲ってくる場合があります。

万が一、噛まれたりしてケガを負った場合は、傷口を十分に消毒し、救急外来を受診してください。

### ②サルを威嚇することは厳禁！

石を投げる・大声を出す・農具などで叩く等は絶対にやめましょう。サルが驚いて、さらに凶暴化し逆襲してくる原因になります。